

Advancing Innovationに関する日米豪印（QUAD）科学技術協力(AI-ENGAGE)

資料3-4

概要・経緯・対応

- 2023年5月のQUAD首脳会合において、新興技術を活用した4か国共同研究の支持を表明。
- これを受け、人工知能、ロボティクス、センシングなどの新興技術を、社会を大きく変えるグローバル課題（食料問題等）の解決に活用する、4か国のファンディング・エージェンシー（FA）による共同研究プロジェクト「AI-ENGAGE」を実施予定。
- 現在、4か国FA関係者による実務者会合にて全体を調整しつつ、2段階の研究支援に向けて準備中。（共同公募に基づく研究支援（Phase2）は、ムーンショット型研究開発制度（MS）を適用予定）

事業概要（調整中）

Phase1：NSFが支援中のAI-ENGAGEの趣旨に沿うプロジェクト数件に対し、4か国連携への拡張やその効果の実現性検証を支援

- NSFは最大\$30万の研究費を追加支援、米以外も必要に応じて自国研究グループに研究費支援他を実施予定。
- 対気候変動頑健性向上、スマート農業の開発などを旨とするプロジェクトを支援対象として検討中。

Phase2：共同研究プロジェクトの共同支援（3年間）

- QUAD国連携プロジェクトを支援。各国FAが共同提案を募り、共同で審査したうえで採択決定し、自国研究者を支援。
- 支援規模
 - アメリカ・日本：3年間で約10億円
 - インド・豪州：調整中
- 現時点で想定されるテーマ
 - 作物生長や土壌変化等を予測する「農業予報」
 - 画像イメージングによる作物の形質マッピング・分子育種に向けた応用バイオインフォマティクス
 - ロボティクスによる農場マネジメント など

※AI-ENGAGEの趣旨や方法論に鑑みると、MSにおける国際連携強化に資することが期待できるため、我が国は、Phase2をMS内で実施することとし、各MS目標のマネジメント体制とは別にPhase2を適切にマネジメントする体制（MSにおけるPD相当職の設置等）をJSTで構築する予定。

スケジュール（調整中）

- 2024年1月：Phase1支援プロジェクト決定、Phase2共同公募開始
- 2月上中旬：ワークショップ開催（Phase2公募促進（マッチング、宣伝）や支援対象研究分野の動向把握）
- 5月～：Phase2公募締切り・合同選考
- 9月～：Phase2採択決定・支援開始（2027年8月まで）

